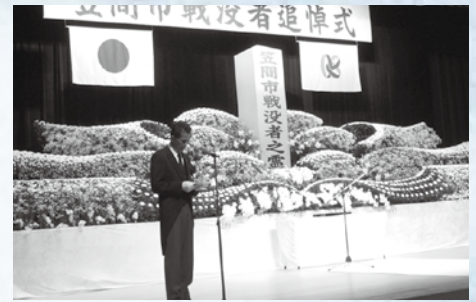


## 戦没者追悼式を挙行

第二次世界大戦の終結から70回目の夏を迎えました。

戦後70年の節目に、あらためて先の大戦における本市関係者1,700余名の御霊に対して、追悼の誠を捧げるとともに、ご遺族に対し深い敬意を表し、また、市民挙げて恒久平和を祈念し、8月8日(土)に笠間公民館大ホールにおいて戦没者追悼式を厳かに挙行了しました。

式典では、市長の式辞、来賓の方からの追悼の辞に続き、ご遺族を始め市民参列者約350名が献花を行いました。



式辞を述べる山口市長

## 戦争体験者講演会

終戦70年の節目の年に、戦争について学び、平和の大切さについて考えるきっかけづくりとして、8月9日(日)に「終戦70年笠間市戦争体験者講演会」を友部公民館大ホールで開催しました。

講演会は、南秀利さんによる基調講演、そして、戦争体験者の村上包一さん、丹順道さん、藤枝義忠さんの3名からそれぞれ戦争中の体験をお話いただきました。当日は160名の方に参加いただき、参加した方からは、戦争中の話が聞けたことはとても貴重であったなどの声がありました。

友部公民館では、9月30日(水)まで1階ロビーにおいて、「終戦70年笠間市と太平洋戦争資料展」を開催していますので、この機会にぜひご覧ください。

### 終戦70年笠間市戦争体験者講演会



自らの戦争体験談について講演する丹さん

## 環境大臣賞を受賞

障がい者の自立支援と、縫製の過程で出た布のはぎれの再利用を兼ねた活動に取り組んでいる森田屋縫製(石井)が、環境と社会に優しい活動を表彰する環境省の「グッドライフアワード2015」で、全国から寄せられた135件のうち、高評価の10件に与えられる環境大臣賞に輝きました。

今回の受賞について、支援事業部責任者の入江勇太さんは、「本当にうれしく、励みになる。不要になってしまったはぎれが、再び繋がって作品となり価値を持つ活動が、障害の有無に関係なく人と人をつなげられたら」と話されていました。



就労支援利用者とスタッフの皆さん

## 権利擁護講演会を行いました

7月17日(金)に友部公民館で、「成年後見制度」と「詐欺や悪徳商法の手口と実態」についての講演会を開催しました。

当日は、市民や民生委員、市内の介護保険事業所を始め、市外も合わせて86名の参加がありました。

講演会では、「成年後見制度」について法テラス茨城法律事務所の立花朋弁護士から、「詐欺や悪徳商法の手口と実態」について笠間市消費生活センターの工藤孝子相談員から説明を受け、生活の安心を得るための方法について話を聞くことができました。

成年後見制度を利用することや笠間市の特徴的な詐欺被害を学び、トラブルへの対処に役立つとても有意義な講演会となりました。



熱心に聞き入る市民